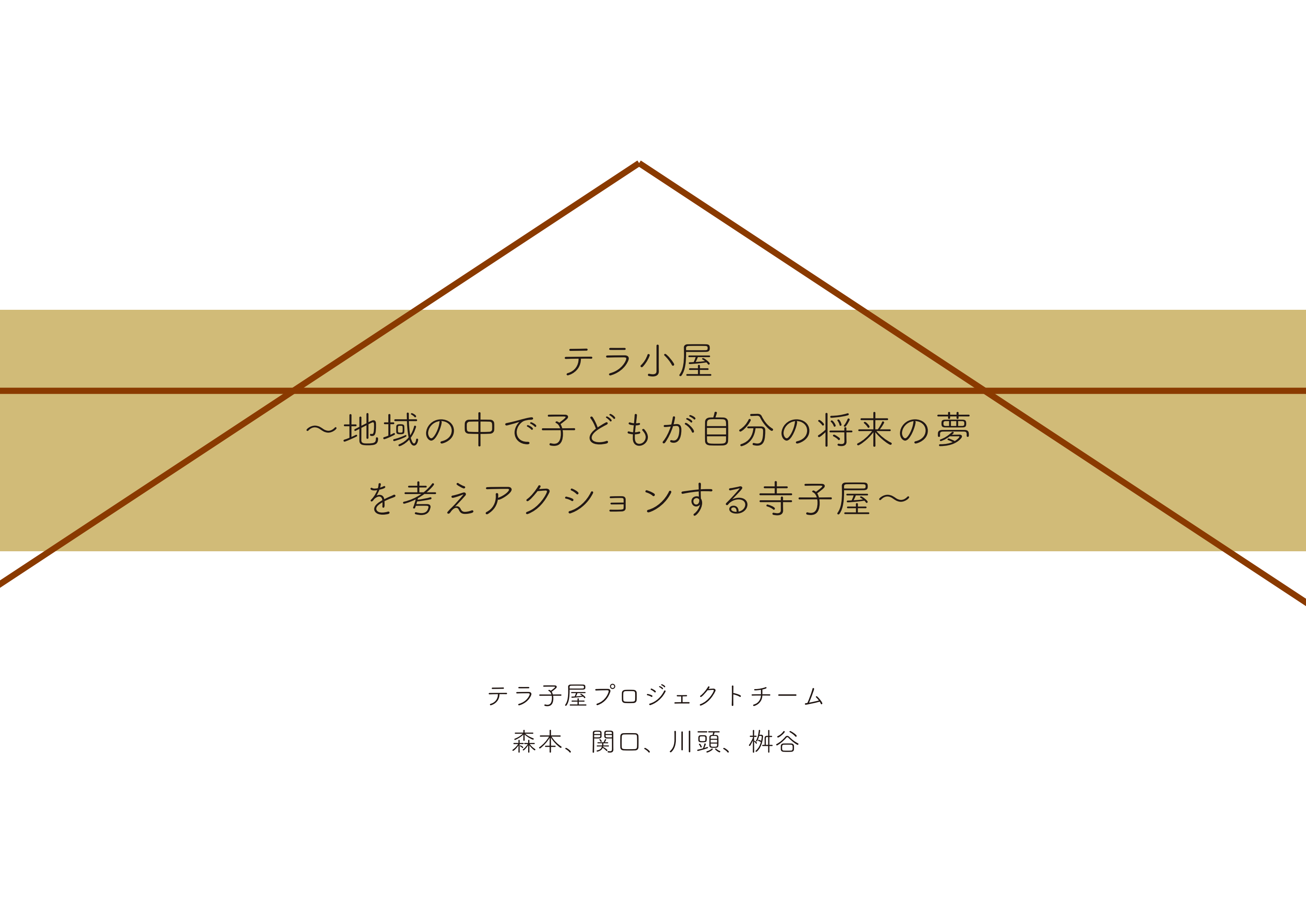




テラ小屋

～地域の中で子どもが自分の将来の夢
を考えアクションする寺子屋～

テラ子屋プロジェクトチーム

森本、関口、川頭、梶谷

目次

1. テラ小屋って何？
2. 現状の課題・プロジェクトのきっかけ
3. 参考事例
4. コンセプト・ビジョン
5. 寺子屋 の事業内容
6. これまでの活動
7. 計画（実現に向けた作戦）
8. 応援・協力お願いします！！

1. テラ小屋とは？



寺子屋の筆子と女性教師 一寸子花里「文学ばんだいの宝」

<日本古来の寺子屋から受け継ぎたいこと>

- ・ 各々が必要なことを勉強して、将来につながることを主体的に学んでいた。
- ・ 年齢の制限はなかった。

奈良で子どもが将来の夢を考え、それに向かってアクションすることを地域全体でサポートする場所

「テラ」・・・

1テラを超える子どもの可能性



×

「小屋」・・・

集う場所、居場所



< 新たな現代の寺子屋 「テラ小屋」 >

- ・ いろいろな情報から選び取って、 **自分の道** を歩んでほしい。
- ・ 勉強を学ぶ場所ではなく、 **なぜ学ぶかを知る**。
- ・ **子どもの居場所、そして地域の人が集う場所** としたい

2. 現状の課題・プロジェクトのきっかけ

2-1. 考える力の低下

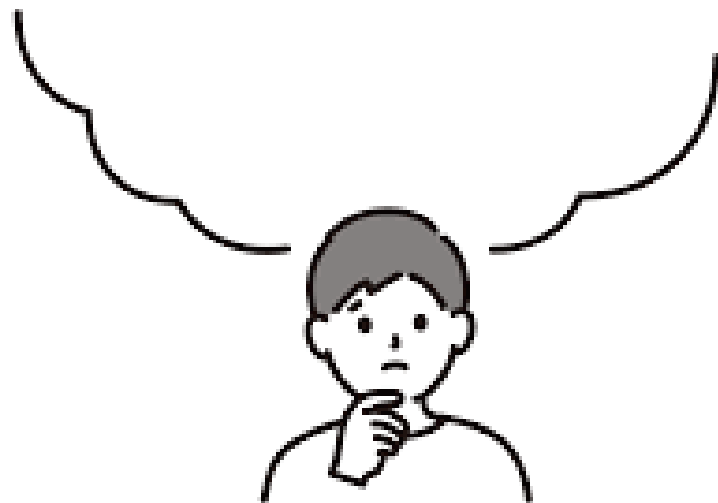
受け身の子供が増えている。

与えられたものをこなすだけ。なぜを考えない

みんなと同じことをしてる。勉強だけが目標

自分の未来・将来に興味がない。

学びを活かす場がない。



2. 現状の課題・プロジェクトのきっかけ

2-2. 地域コミュニティの希薄化

地域や、子どものつながりが薄れている。

教育に関わる人のコミュニケーションが取れていない。



2. 現状の課題・プロジェクトのきっかけ

2-3. 統一 vs 個性

学校教育で抱えきれないもの（大人数教育と多様性社会の限界）

個人を見れていない

学力を伸ばすことに比重が高すぎる。

社会と学校の求めているもののズレ→個性を活かせる場所のなさ



2. 現状の課題・プロジェクトのきっかけ

建築 × 教育 × 学生

2-1. 考える力の低下

2-2. 地域コミュニティの希薄化

2-3. 統一 vs 個性

教育学生
塾講師

建築学生
まちづくり参加

大学生

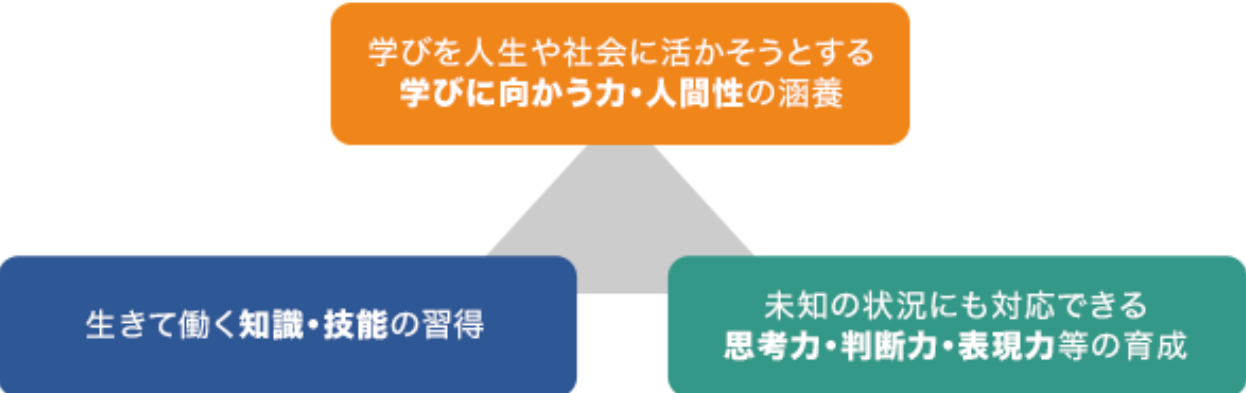
今の自分たちのそれぞれの立場、状況だからこそ、体験として感じた課題からはじまった構想

3. 参考事例

3-1. 教育の発展と多様化

「学力の定義」が変わる

3つの資質・能力



参) 文科省 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(2016_12_22)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1380731.htm

アメリカの「サドベリー・バレー・スクール」にて
生まれた教育理念に基づく施設。



サドベリースクールの歴史

- ・1970年
- ・アメリカ合衆国マサチューセッツ州
サドベリーバレーにて
- ・大学教員ダニエル・グリーンバーグらが設立
- ・「人は必要だと思った時に最も良く学ぶ」



- ・決められた時間割がない
- ・一般的な学習やテストがない
- ・担任の先生やクラス編成がない
- ・ルールを生徒たちでミーティングをし決める。

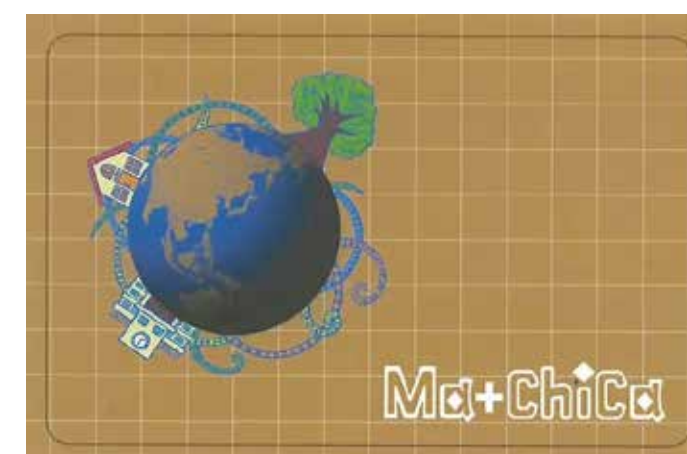
ならまちリーグ 2023 年 2 月 25 日 藤本哲人（ふじもと あきひと）
「自ら学ぶ力が付き、個性と才能が存分に伸びる究極の学校、『サドベリースクール』のご紹介」より

日本の学校でまかなえきれていない部分、指導要領で掲げる内容にもコミットしていきたい

3. 参考事例

3-2. こどもの習い事の多様化

櫛本こども夢応援プロジェクト「町力塾」



地域の方と学校教員が運営、4～6年生が放課後に通う子どもたちはここで学ぶことでMa+Chicaポイントが溜まる

Ma+Chicaポイント

Ma+Chicaポイントをためて、イベントに参加してさまざまな体験学習を得る。



3. 参考事例

3-2. こどもの習い事の多様化

スタジオあお

- ・生徒がやりたいことを応援する
- ・子供たちはプロジェクトを立て上げて、最後まで責任を持ってやりきる、夢を応援する学習教室
- ・先生のやることは「いいね！」と「どうすればそれができるかな？」のみ



引用：

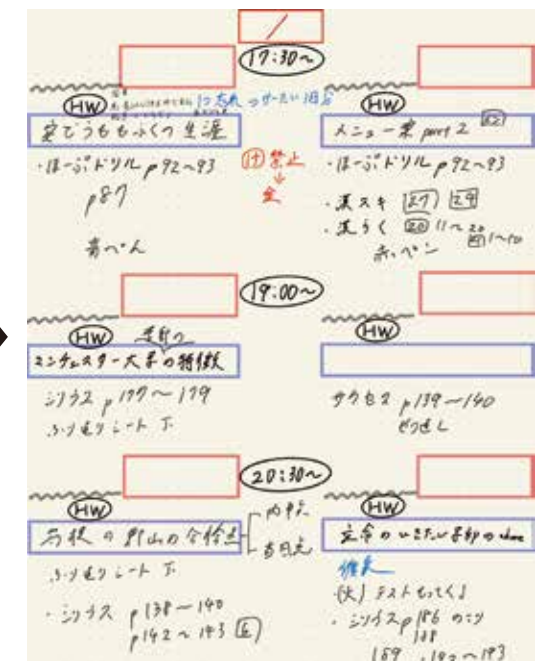
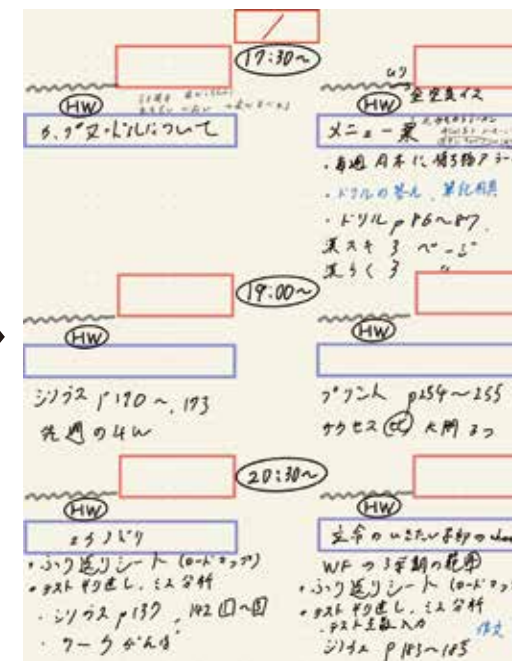
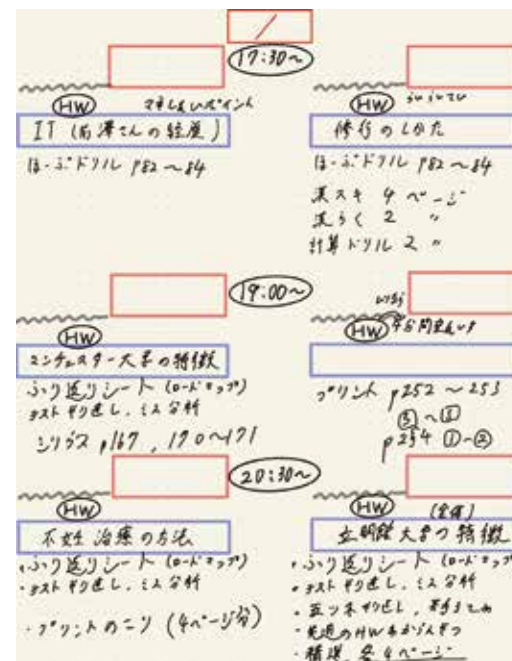
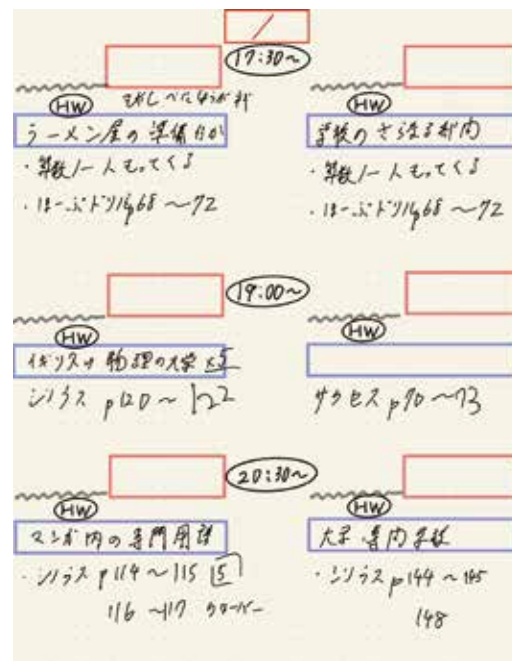
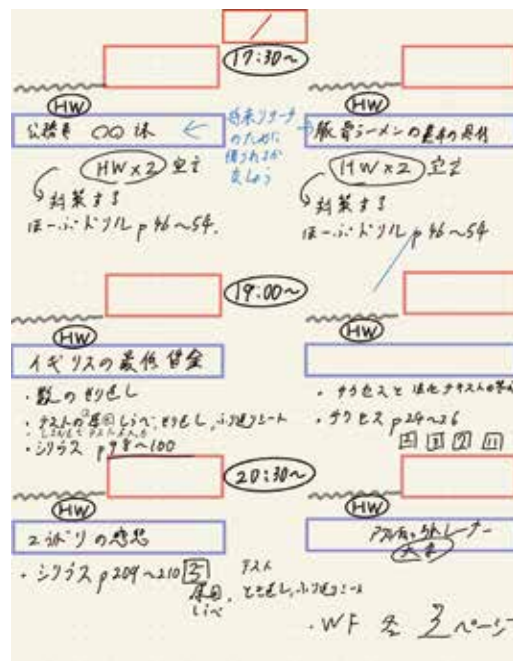
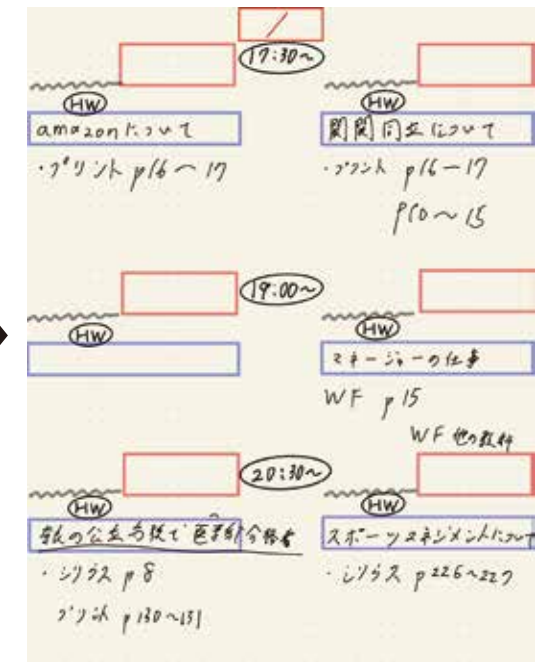
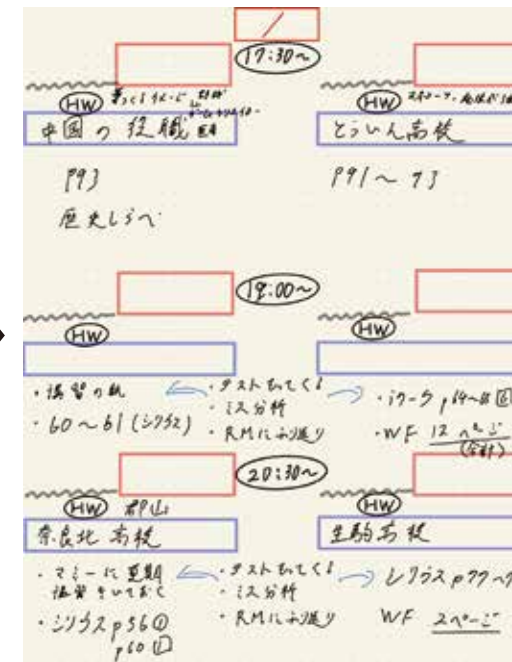
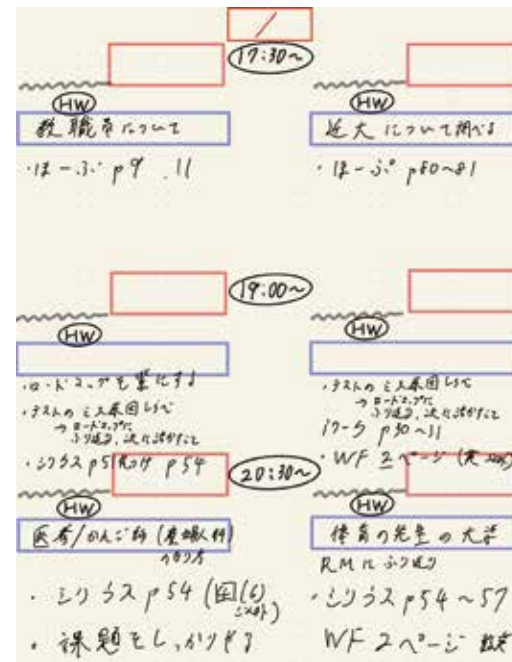
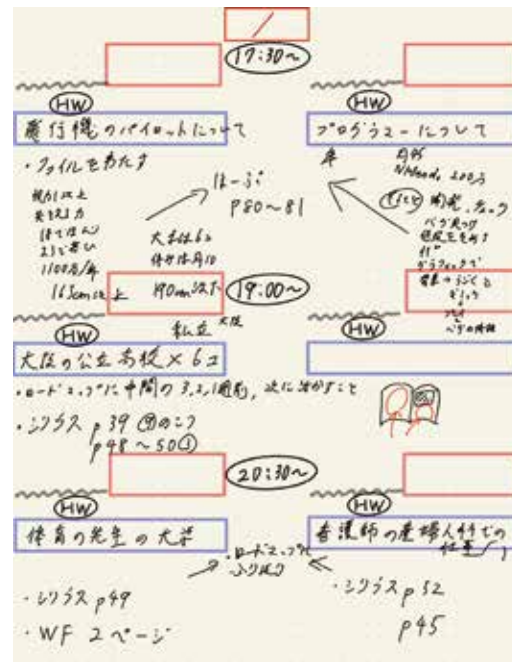
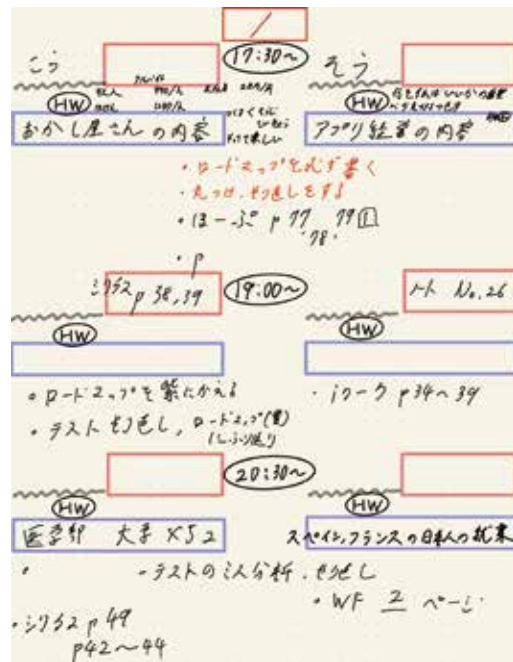
「LIFE ～夢のカタチ～」HP バックナンバー 10 歳で社会人を育てるユニーク教育川村哲也さん 京都市上京区「スタジオあお」より
<https://www.asahi.co.jp/life/backnumber/detail.html?time=202301141100&id=233>

3. 参考事例

3-3. 森本による将来リサーチ

毎週、勉強の合間に5分で調べられる「自分の将来につながる」テーマを決め、調べてくる

勉強をやらされでする子が非常に多く、「今やってることは自分の未来につながる事なんだ」と“自分のためにする勉強”へと向かってもらうために始めた。



4. コンセプト・ビジョン

子ども同士が互いの顔を見れる

他者と関わる力

子どもも大人も学ぶ

距離が近い

地域コミュニティの希薄化

様々なことを体験

考える力の低下

聞く姿勢

他学年との交流

教員が話し合う場所

学びを活かす場所

地域の人と子供が関われる

学ぶことって面白い

繋がりを持ちながら

自ら学びにくる場所

ワーキングスペース

目標を持つ

教員の労働環境の改善

将来の夢を考える

社会を知る

やりたいことをサポート

多角的觀點

統一 vs 個性

放課後の居場所

したいことを叶える手段

多分野にわたって考える

地域に見守られながら育つ

社会人としての力

プレゼンカ

日本の文化

好き・得意を原動力に

将来エスキース

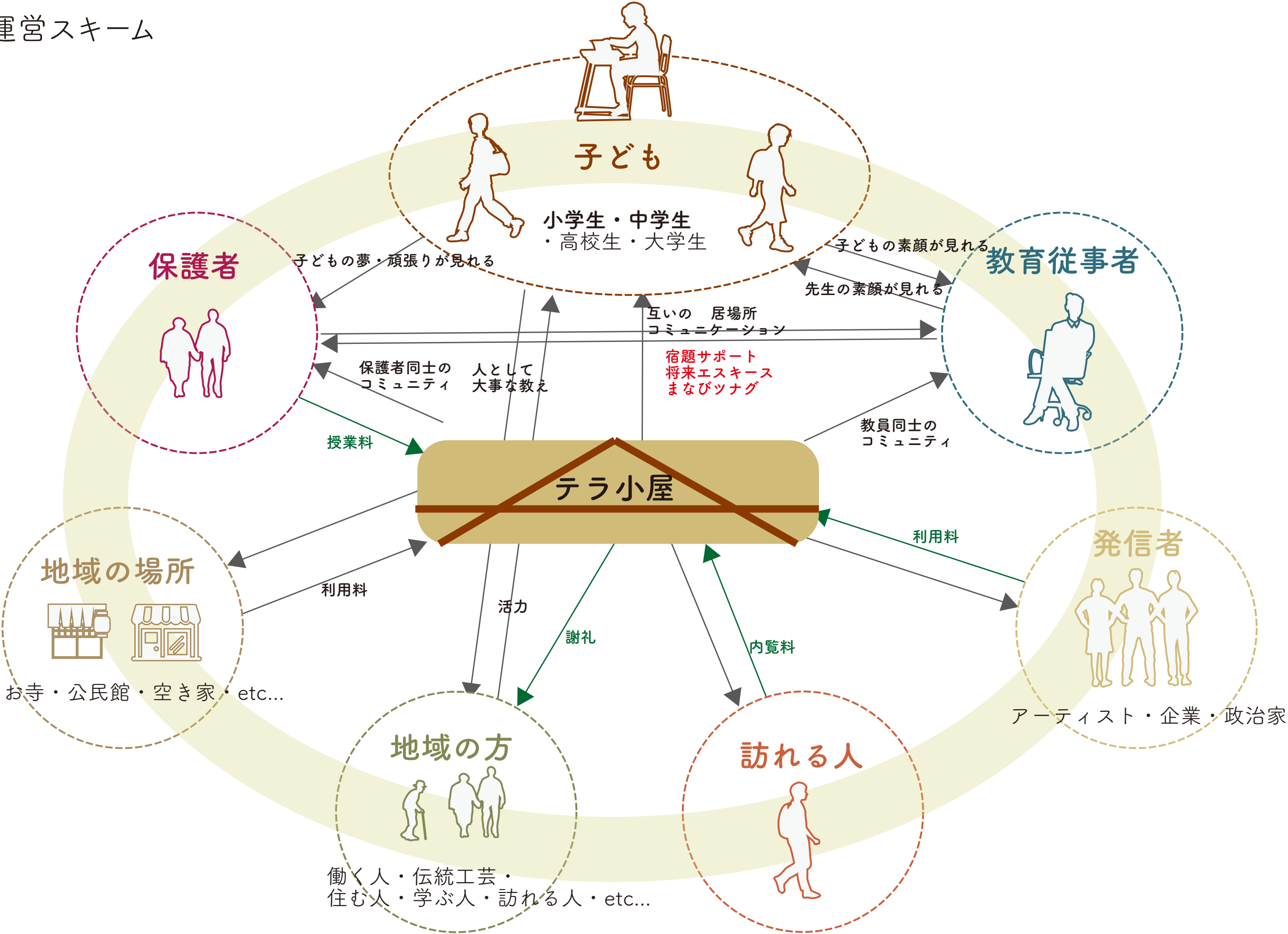
自分自身を知る

自己を語る

学校に行っていない子ども

5. 寺子屋 の事業内容

5-1. 運営スキーム



5. 寺子屋 の事業内容

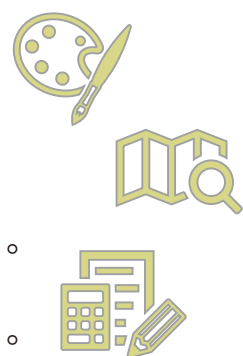
5-2.メインカリキュラム「将来エスキース」

・・・子どもが将来の夢を探し考え見つけ、アクションすること

そもそものエスキースの意味とは

建築学科で使われる「エスキース」とは

1. フランス語で、下絵・ラフスケッチのこと。（原義）
2. 設計の原案やコンセプトを決める一連の思考作業のこと。
3. 原案やコンセプトを教員に発表・相談する集まりのこと。



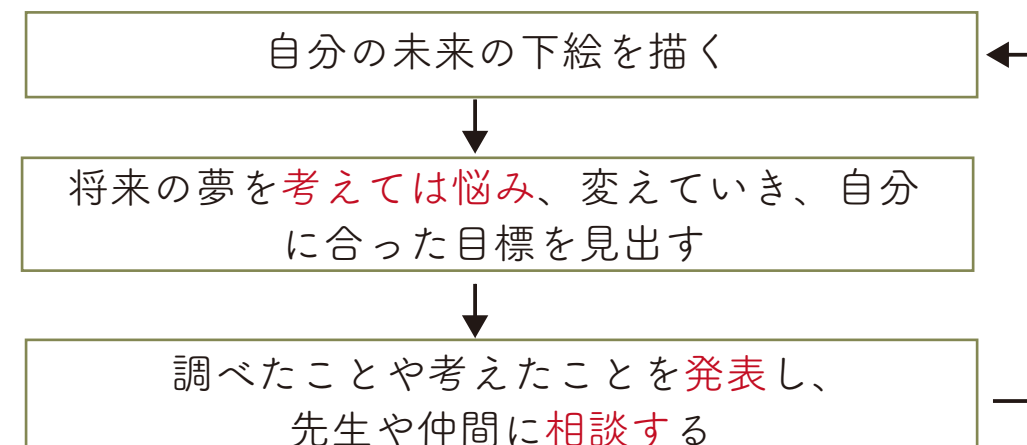
建築は多分野にわたる学問
家をつくるためには“人”を知らなければならない
病院をつくるためには医学分野を ...
学校をつくるためには教育を ...



将来の夢を模索する学びに応用

多分野にわたる建築の人間は
多くの知識量と多分野にわたる興味関心、社会の変化を感じ取る力が求められる

建築学科で行われるエスキスという方法を
教育分野に応用できるのではないか？！



5. 寺子屋 の事業内容

5-2.メインカリキュラム「将来エスキース」

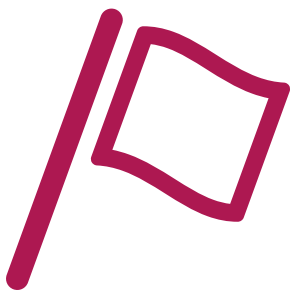
将来エスキース

⑩講義、講座 ・プレゼン講座 ・リサーチ講座 ・ネットリテラシー ・社会人（地域の人が）が先生になってレクチャー →職業知識 →人生経験 →考え方	①リサーチ報告 グループワークで1分プレゼン スクショ フォーマットに入れる ex)パワポ2～3枚 動画 自由 →プレゼン力 →聞く力	②エスキース （子どもの調べてきたことに対してアドバイスをする） ・先生がまわって個別にコーチング [指導内容] ・調べ方 ・まとめ方 ・タイミング（休むべき時、他のことを調べるべき時） ・グループディスカッション →アイデア力 →工夫力 →アドバイス力	④プレゼン ・月末プレゼン（月1） →形に残るものにする。 ・セメスター末プレゼン これまでのパワポをまとめる ・広く調べる時間（月1） →表現力、説明力
---	--	---	---

②エスキースの流れ



夢、目標を探す



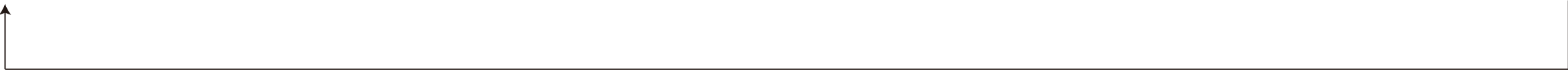
夢、目標を決める



それを叶えるためにどうすればいいかリサーチ・考える



実際に実行・まとめる



一連の流れを繰り返すことで、絶えず思考し、自分自身を知りながら、将来に向かう

5. 寺子屋 の事業内容

5-2.その他のサブカリキュラム

・まなびツナグ

・・・自分が勉強した内容や知識を使ってゲーム形式で思考をドライブする。



- スコア形式にして、ランキング化して壁に貼っとく
→ポイントごとにご褒美が用意される。
- ・お菓子
→ポイントごとにランク、セットがある
 - ・文房具
 - ・職業体験
 - ・宿題免除
 - ・遊びの提案（月1が月2にできる）
 - ・できることが増える
 - ・先生になれる
→何を教えてもいい
 - ・ギフトカード
 - ・ガチャ（何が出てくるかわからない）
 - ・自分の好きなことにディスカッションができる

・宿題サポート

・・・学校の宿題をみんなで集まって行う



・振り返りタイム

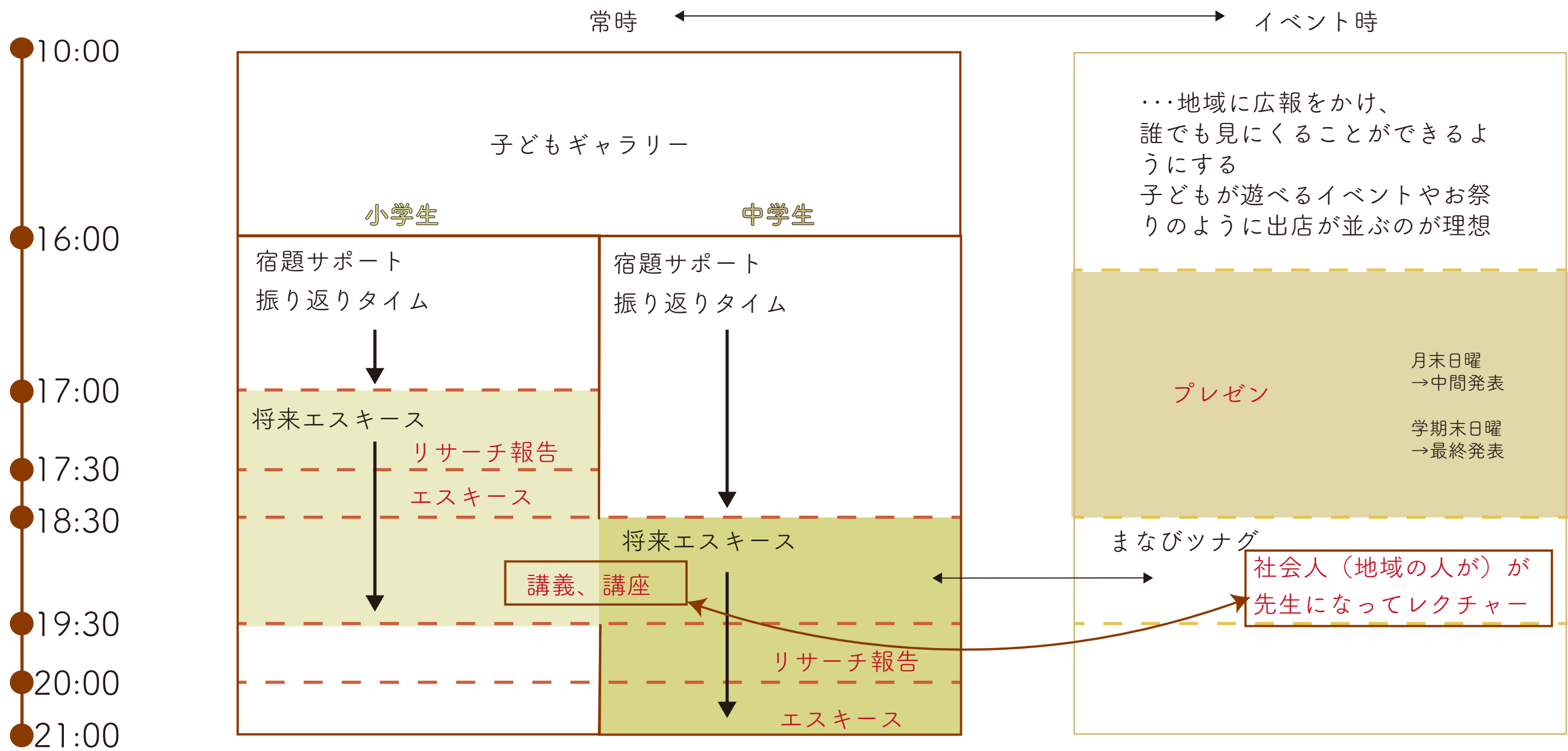
- ・将来リサーチ（大きな目標に対し、小さな目標）
- ・テラ小屋に通う以外の自分の時間を主体的に過ごす

振り返りシート	
計画立て	
何時間（何分）頑張れた？	
目標と比べて	
やる気ゲージ	
頑張ったこと、しんどかったこと、 うまくいったこと、悩むこと	

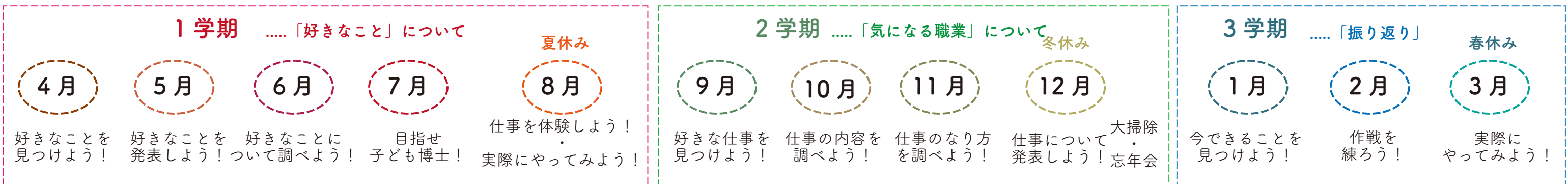
目標シート	
何時間(何分)目指す？	
具体的な目標	

5. 寺子屋 の事業内容

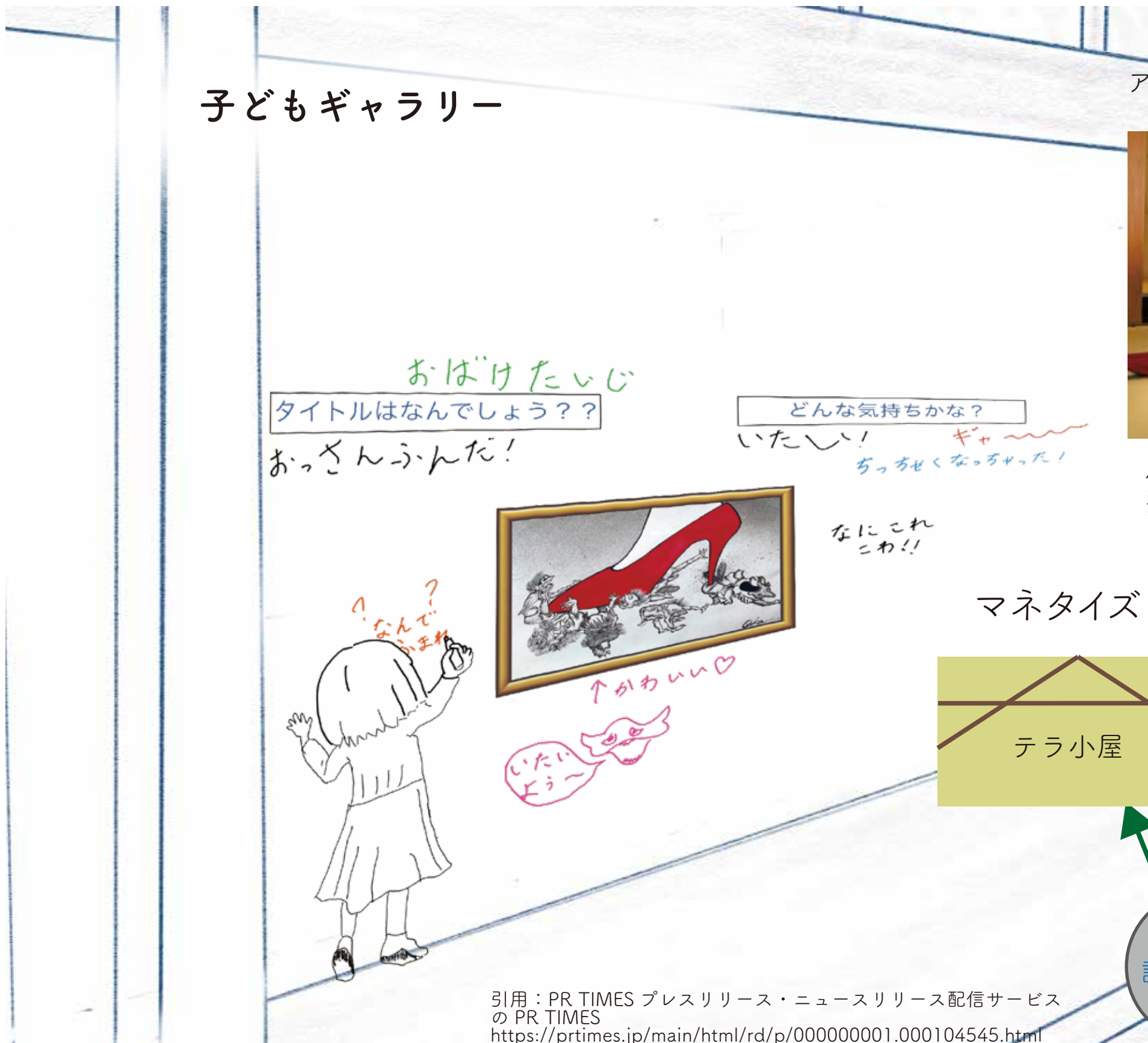
5-3. スケジュール 1 日の流れ（例）



年間スケジュール（例）



5. 寺子屋 の事業内容

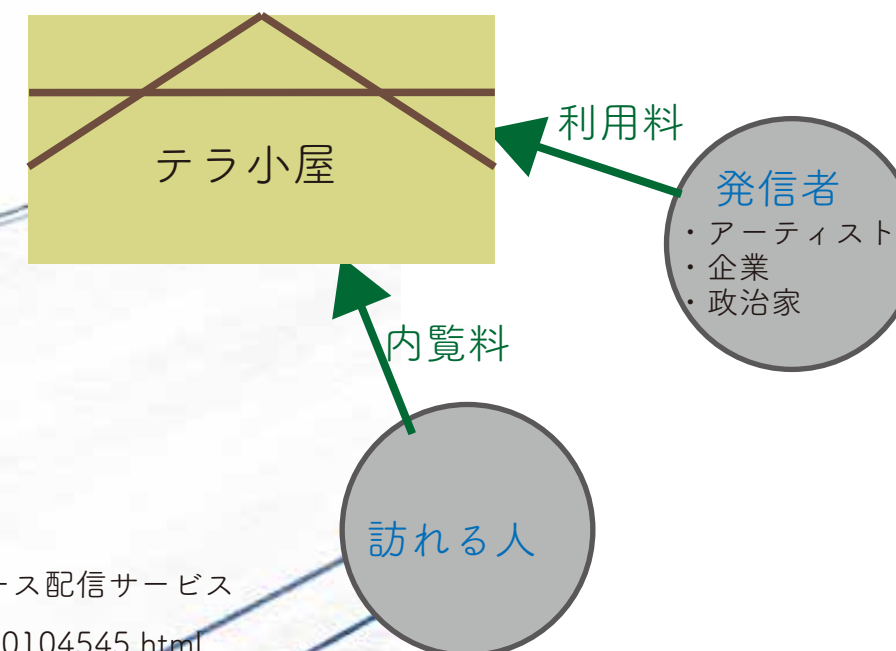


アーティスト例：妖怪書家 / 書家 逢香



個性豊かな妖怪たちに興味を持ち、奈良墨を使って描きはじめる。

マネタイズにコミット



引用：PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービス
の PR TIMES
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000104545.html>

子どもの未来を考える Architect

設計・デザイン部門



千葉出身の島好き男



学校建築



写真映りたがり



抽象化のプロ



関口 就

Sekiguchi Tsukasa

5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門



関口 就

Sekiguchi Tsukasa

profile

Sekiguchi Tsukasa

1998 千葉県 出身

2017 東京理科大学 理工学部 建築学科 入学

2019 Cleague(千葉県5大学共同の小学校建築コンペ) 大学代表で出場

2020 卒業論文：「COVID-19 が日本の学校建築に与えた影響と今後の学校空間の展開」

2021年2月 九州大学人間環境学府多分野連携プログラム「災害と学校」で発表

2021年9月 学校建築雑誌(スクールアメニティ) 掲載

2023 東京理科大学 理工学研究科 建築学専攻 垣野研究室 卒業

2023～ 土屋辰之助アトリエー級建築士事務所 勤務



垣野研究室

所属研究室

【キーワード】

建築計画、施設計画、環境行動、人間の行動、
学校建築、保育園建築、こども、集合住宅、
スウェーデン、フィンランド、オランダ

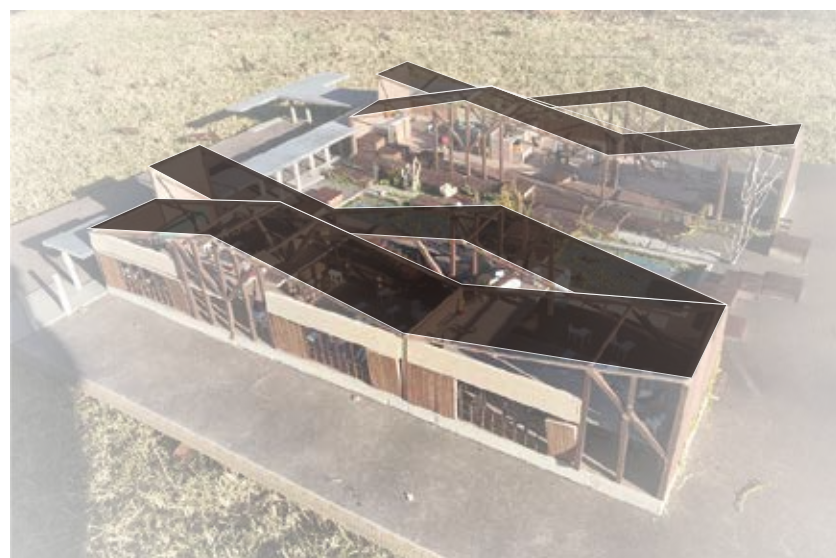
垣野義典

Yoshinori Kakino

設計課題：自由学園女子部校舎改修案

「アフォードするデザインたち」

学校建築の改修案の課題



こども園で家具づくりWS

研究室の後輩が論文で調査した「のなのこども園」
子どもたちと家具をつくっていく計画

研究室改装「Kitchen」

研究室にキッチンをつくる計画
設計から施工まで学生2人で行った

5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

「奈良の町家をテラ小屋に」

EX) 奈良町物語館



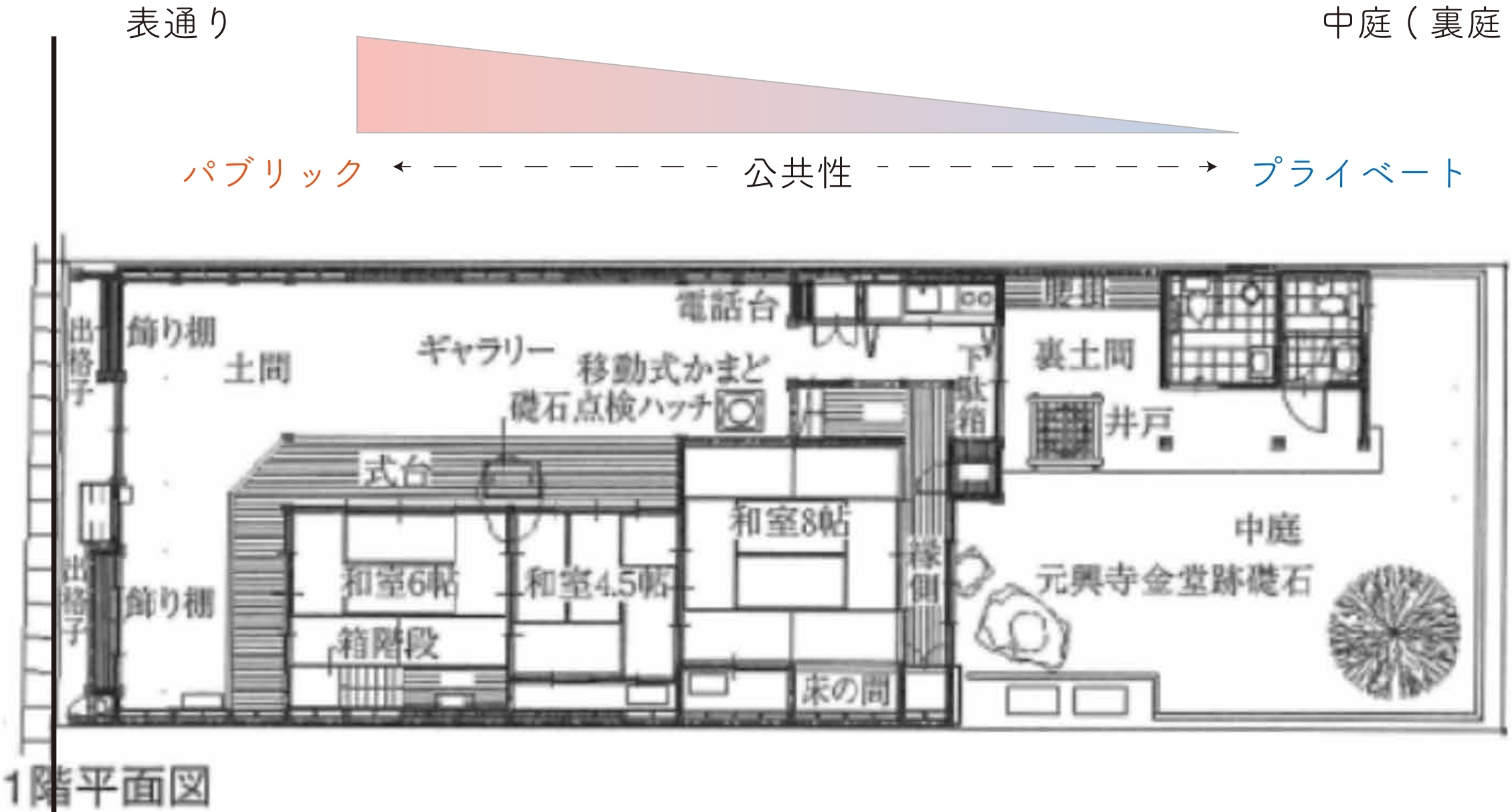
5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門



間口が狭く、奥行きがある空間に公共性のグラデーションが見られる

5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

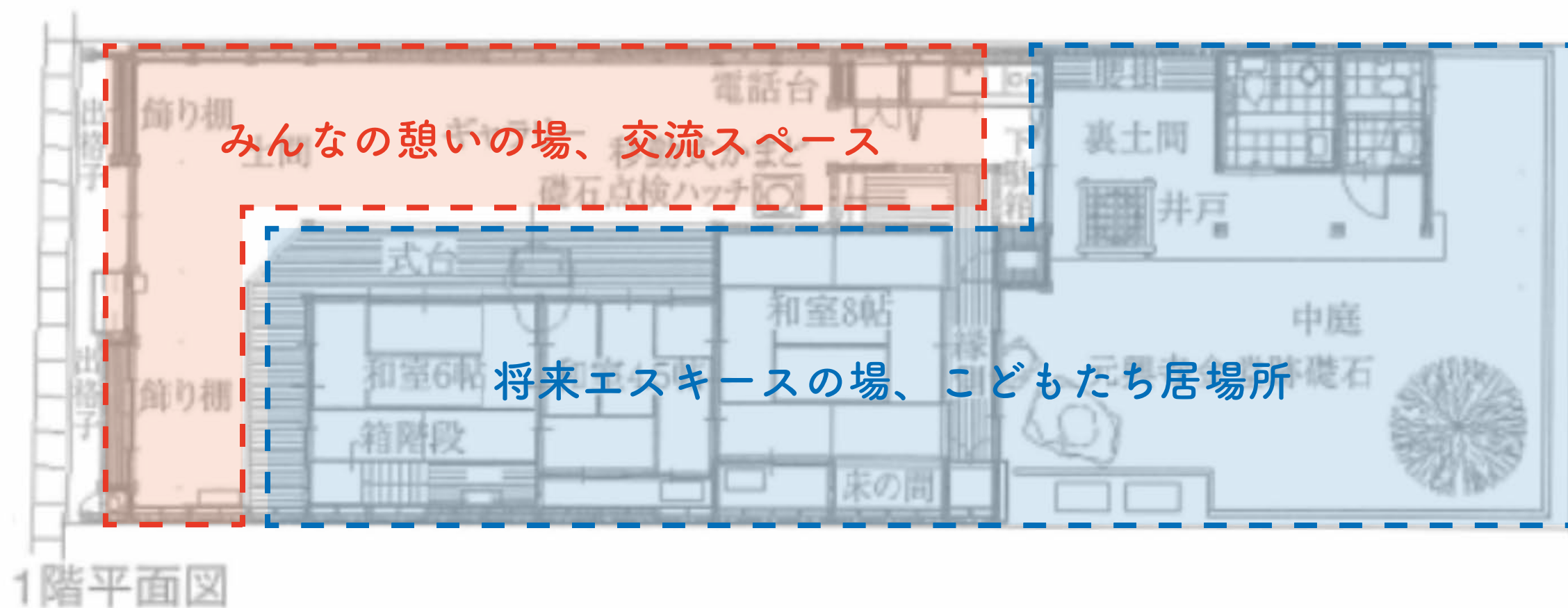
表通り

中庭（裏庭）

パブリック

公共性

プライベート



町家ごとに二つの空間的性質を利用して、それぞれの居場所を設計していく

5. 事業内容

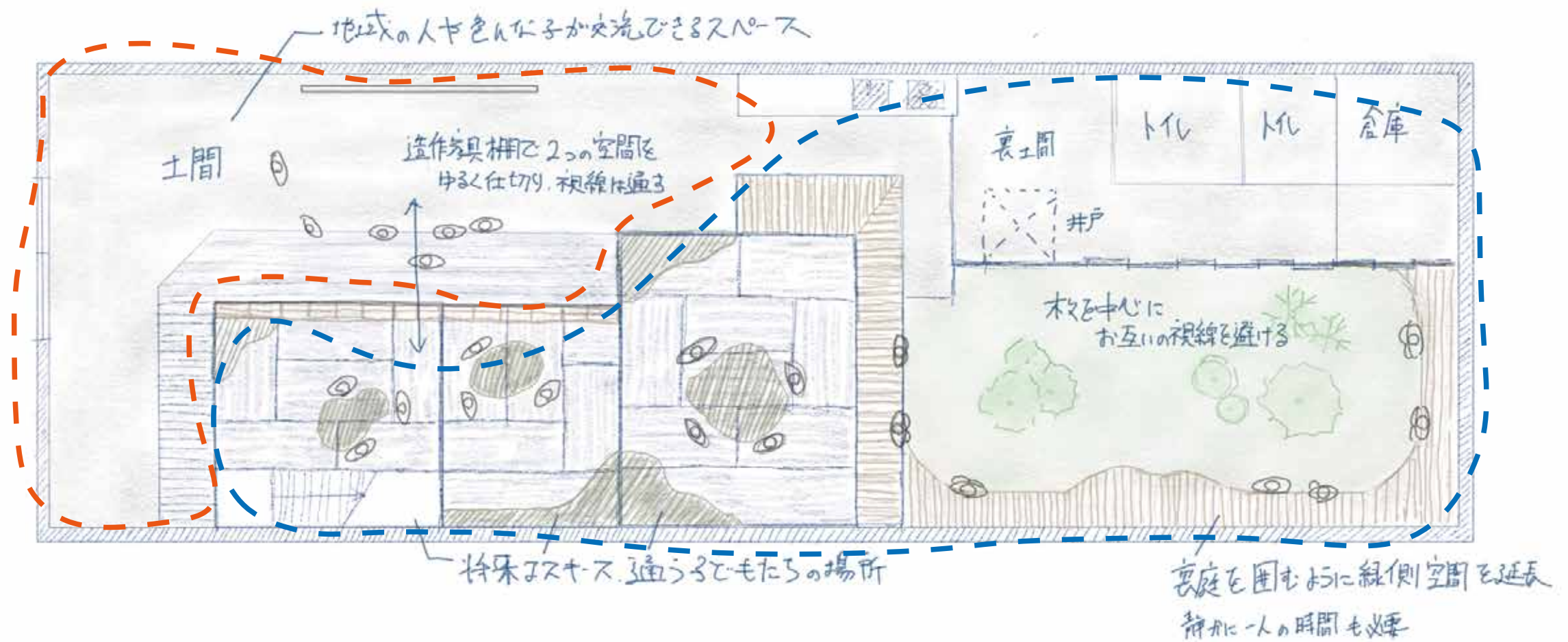
設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

みんなの憩いの場、交流スペース



将来エスキースの場、こどもたち居場所

5. 事業内容

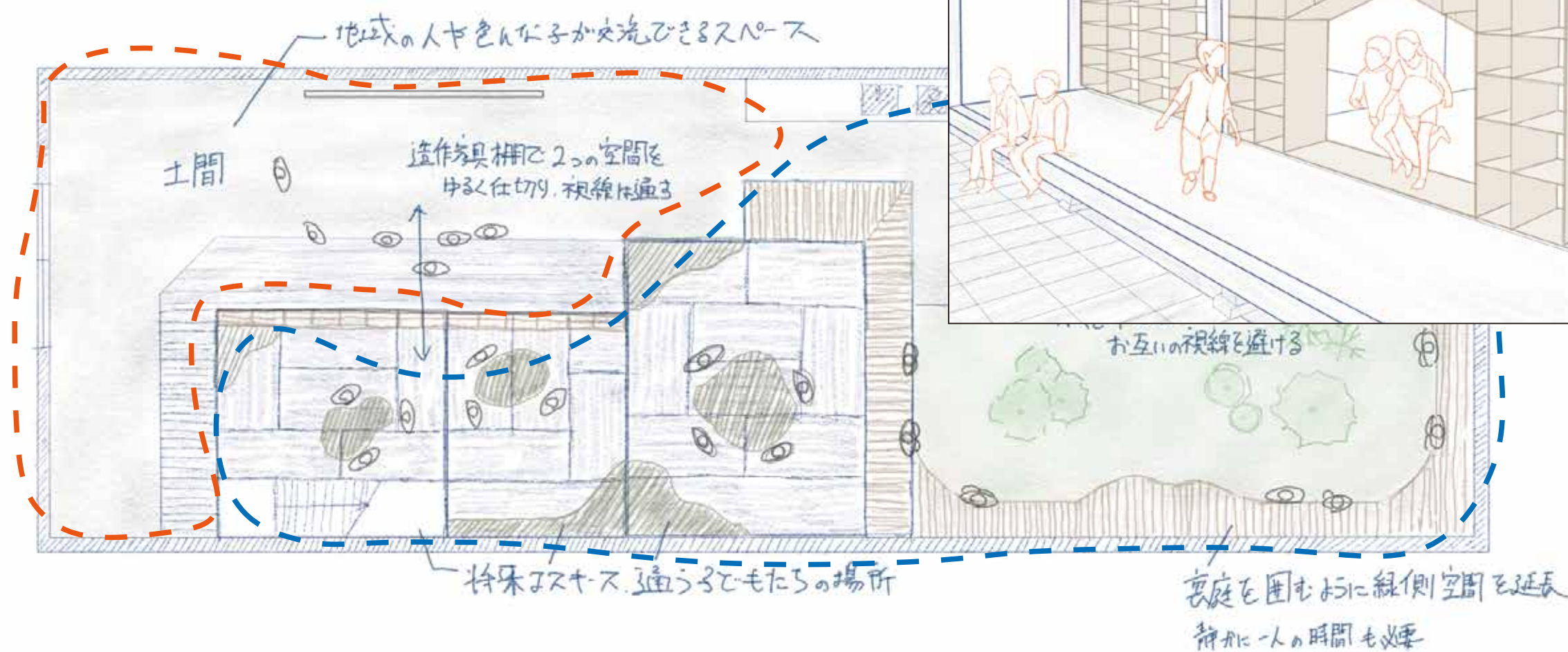
設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

みんなの憩いの場、交流スペース



将来エスキースの場、こどもたち居場所

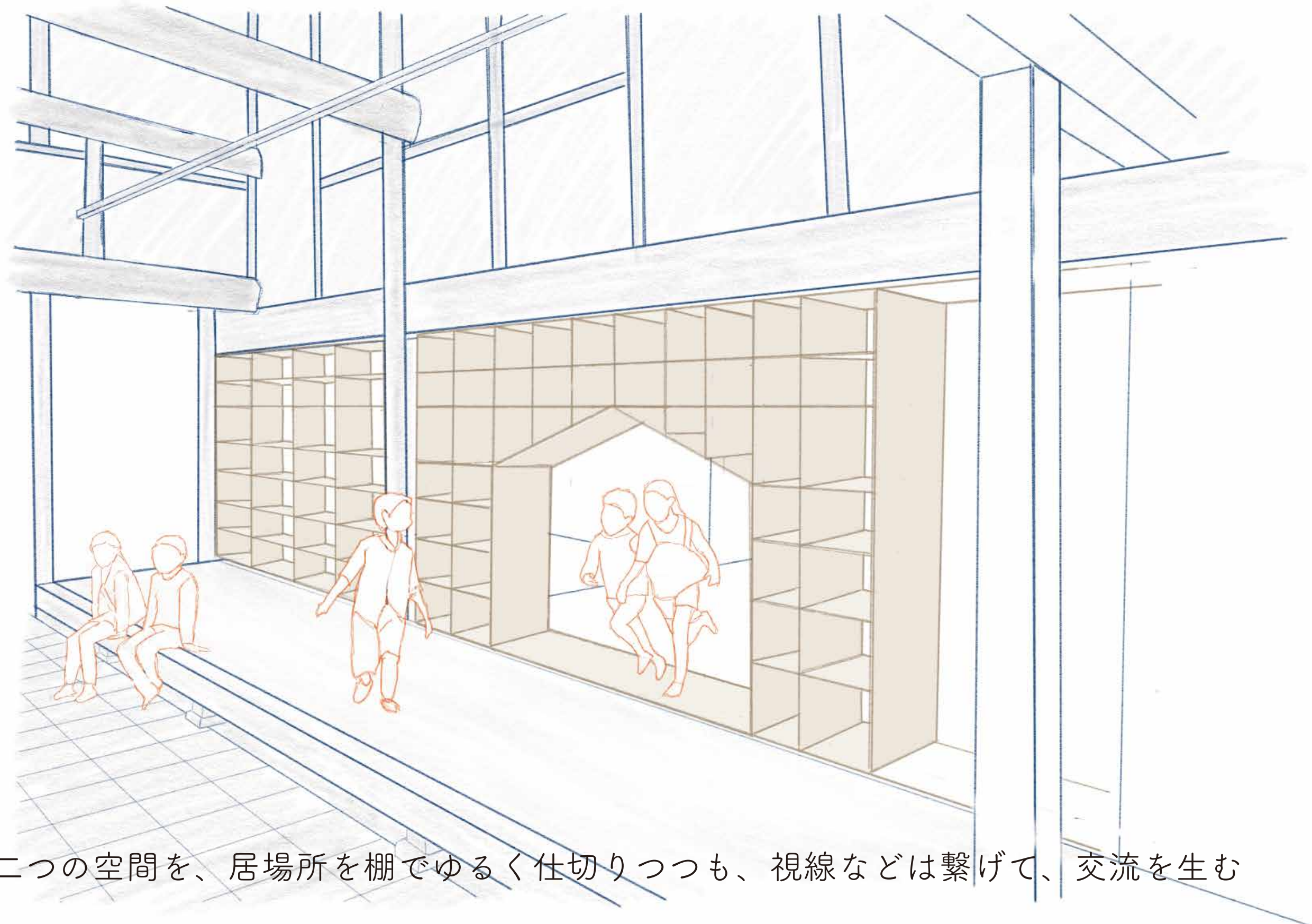
5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門



二つの空間を、居場所を棚でゆるく仕切りつつも、視線などは繋げて、交流を生む

子どもと共に学び続ける Teacher

教育・カリキュラム部門



子どもの心に寄り添うプロ

飲みたがり

学習塾の運営

奈良出身の食好き娘

桒谷 音羽

Masutani Otoha

5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

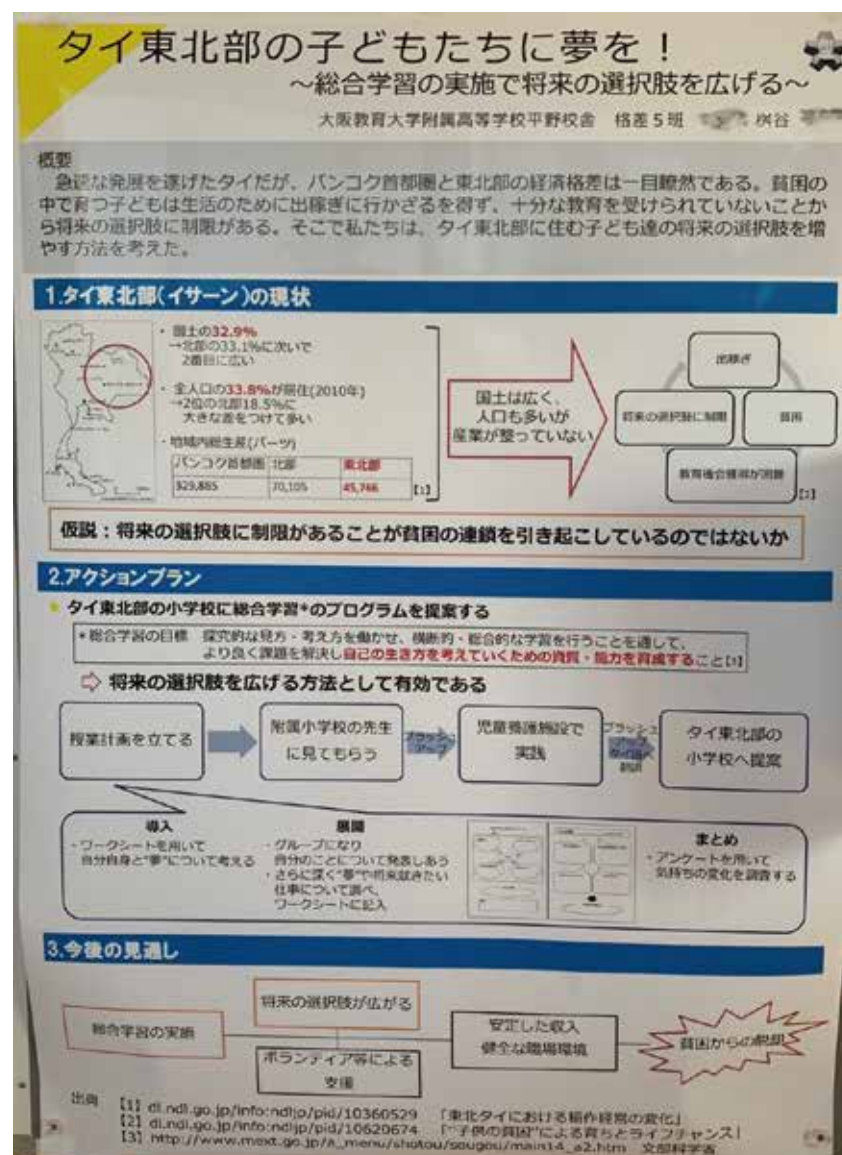
設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門



梶谷 音羽

Masutani Otoha

タイ東北部イサーン地域における
教育格差の研究・校内発表

profile

Masutani Otoha

2002 奈良県 出身

2019 PDA全国高校即興型英語ディベート合宿・大会2019 授業の部 3位入賞

研究活動で、タイ東北部（イサーン地域）の教育格差について研究

2021～ 奈良教育大学 教育学部 学校教員養成課程 教科教育専攻 英語教育専修 在籍

UNESCO ASPnet Global Student Forum:

Taking Action for People and the Planet に Changemaker Student の一人として参加

PDA 全国高校即興型英語ディベート合宿・大会 2019
POI 賞に選出大学祭実行委員
お化け屋敷を企画・実行

5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

こどもの将来をひろげる
「11の学びと教え」



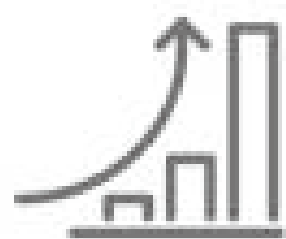
①子どもの視点に立って話す



②多角的視点を持たせる



③子どもの背景に寄り添う



④たくさん褒めて伸ばす



⑤よく子どもを観察



⑥明るく笑顔で接する



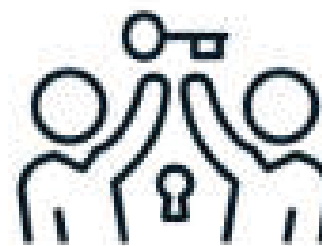
⑦体験学習で楽しく学ぶ



⑧子どもの関係を広げる



⑨学びや会話の機会を平等に



⑩子どもと共に大人も学ぶ



⑪正解のない問いにチャレンジ

人と人をつなぐ Producer

設計・地域コミュニティ部門



奈良出身の和好き男

教育 × まちづくり

コミュニケーションのプロ

断トツの寿司好き

森本 凜太

Morimoto Rinta

5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門



森本 凜太

Morimoto Rinta

所属研究室

profile

Morimoto Rinta

2000 奈良県 奈良市 出身

2019 近畿大学 建築学部 建築学科 入学

近畿大学 建築学部 建築学科 地域マネジメント研究室 所属

学内課題 スタジオ設計Ⅰにて、優秀作品賞

学生団体「」 設立2023~ 卒業設計「セパレート式まちごと学校」
近畿大学大学院 総合理工学研究科 環境系工学専攻 在籍

地域マネジメント研究室

【キーワード】

建築計画、建築企画、コーポラティブ住宅、
ストック再生、コレクティブタウン、協調建
替、まちづくり、ワークショップ

寺川政司

Terakawa Seiji

設計課題：スタジオ設計Ⅰ

「商店街リビング化計画」

新しいパブリックスペースの「かた」を探求する課題



研究室

居住支援施設のリノベーション提案



住民を交えた、理想のまちを語るワークショップ

学生団体「」

5. 事業内容

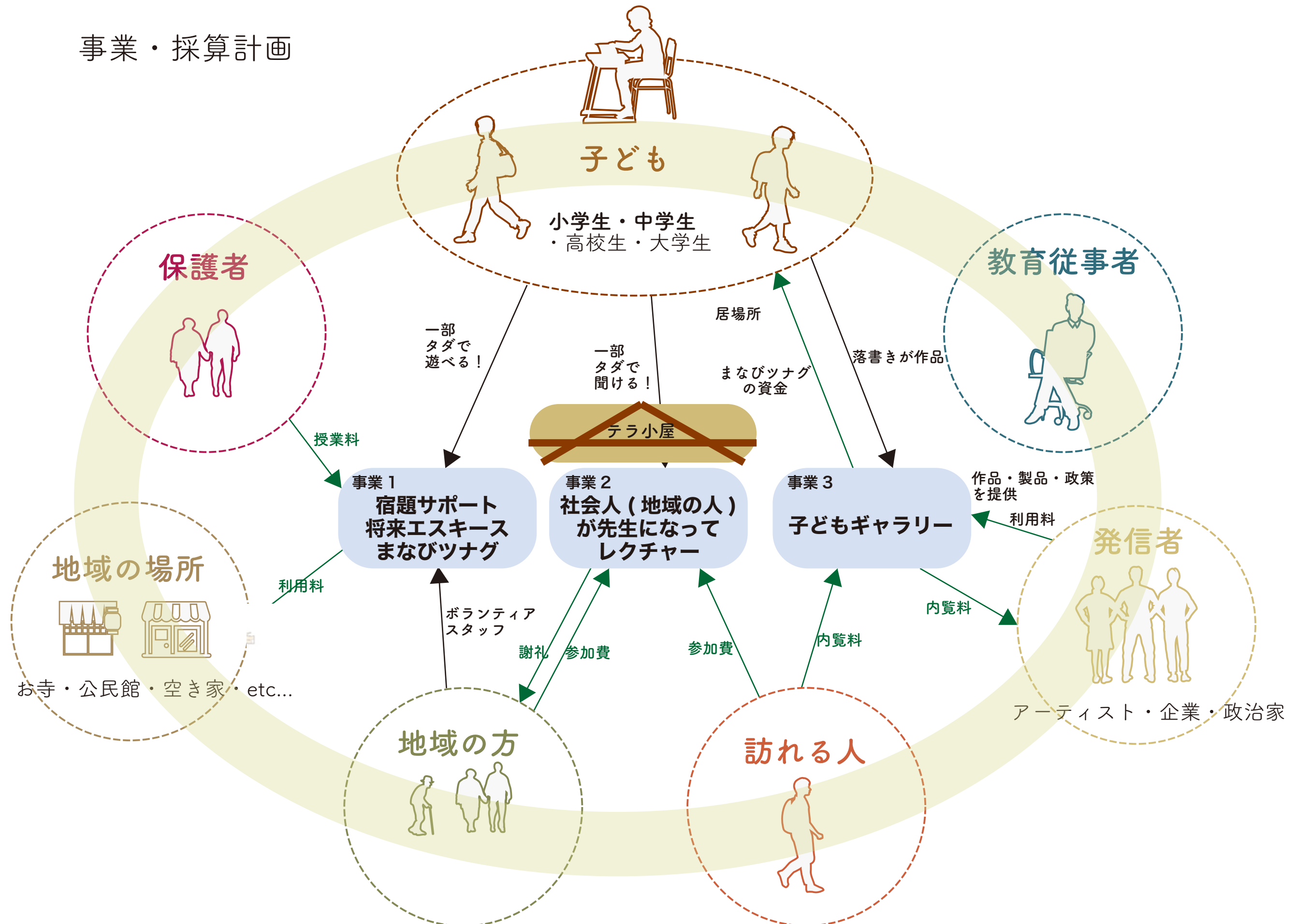
設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

事業・採算計画



5. 事業内容

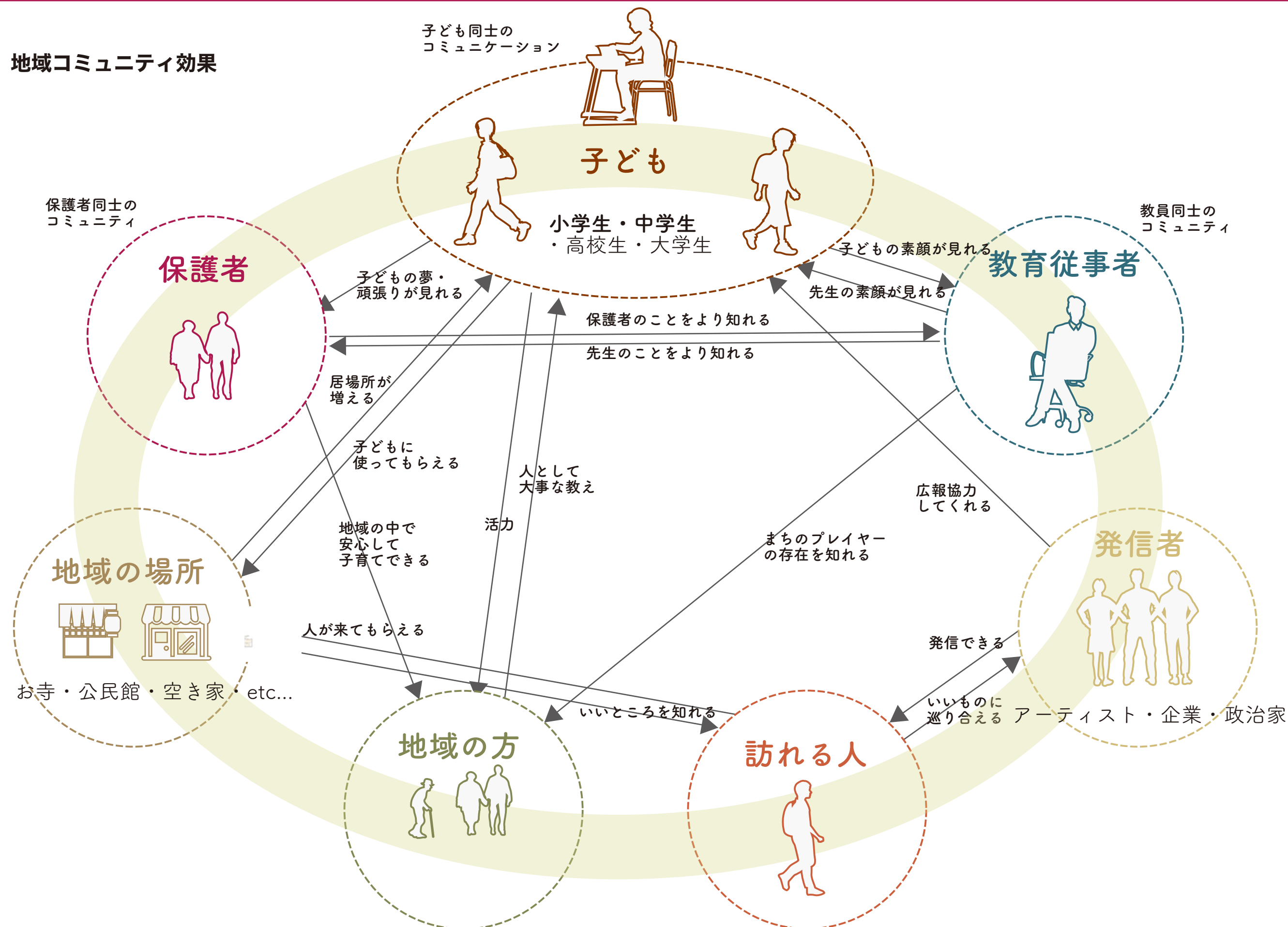
設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

地域コミュニティ効果



学びの環境をつなぐ Coach

教育環境・連携部門



甘えたがり



佐賀出身の本好き男



俯瞰視のプロ



教員の職務環境改善



川頭 史空

kawazu Fumitaka

5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門



川頭 史空

Kawazu Fumitaka

profile

Kawazu Fumitaka

2002 佐賀県 出身

2020 奈良教育大学 発達教育専攻 教育学専修 入学

2021~ 「学生団体あそぶなら」を立ち上げ、副代表として活動

・奈良町見知ル

一週間、特別に施設や展示を公開することで、
奈良のちょっと良いところを見て知ることができるイベント

・子ども食堂

歩味子ども食堂&あすかのゆびとまれこども食堂に参加

・奈良教育大学内にある「寧楽館」

実際に子どもの居場所、保護者の相談所になっている場所で
授業を通して参与観察&子どもとのふれあいをおこなっている

・教員や教育関係者との対談

Zoom や対面で何人かの先生や教育関係の方と教育の現状や、
これからの教育のあり方、自分自身が考えていることについてのお話をした。



5. 事業内容

設計・デザイン部門

教育・カリキュラム部門

設計・地域コミュニティ部門

教育環境・連携部門

社会人が自分の肩書きなしで交流できる場



学校教員の憩いの場を創りたい！

「悩んだり、イキイキしてるおとな」から
話を聞いたりすることでこどもが自分の将来に還元できる

将来の夢

あんな大人になりたい！

今の自分に何ができるだろうか



〈実現への道〉

子どもが未来について考えアクションする寺子屋の創設

⇒ 子どもの居場所の創出

⇒ 子どもに語る場の創出

大人の居場所の創出

⇒ 寺子屋が地域の居場所になる

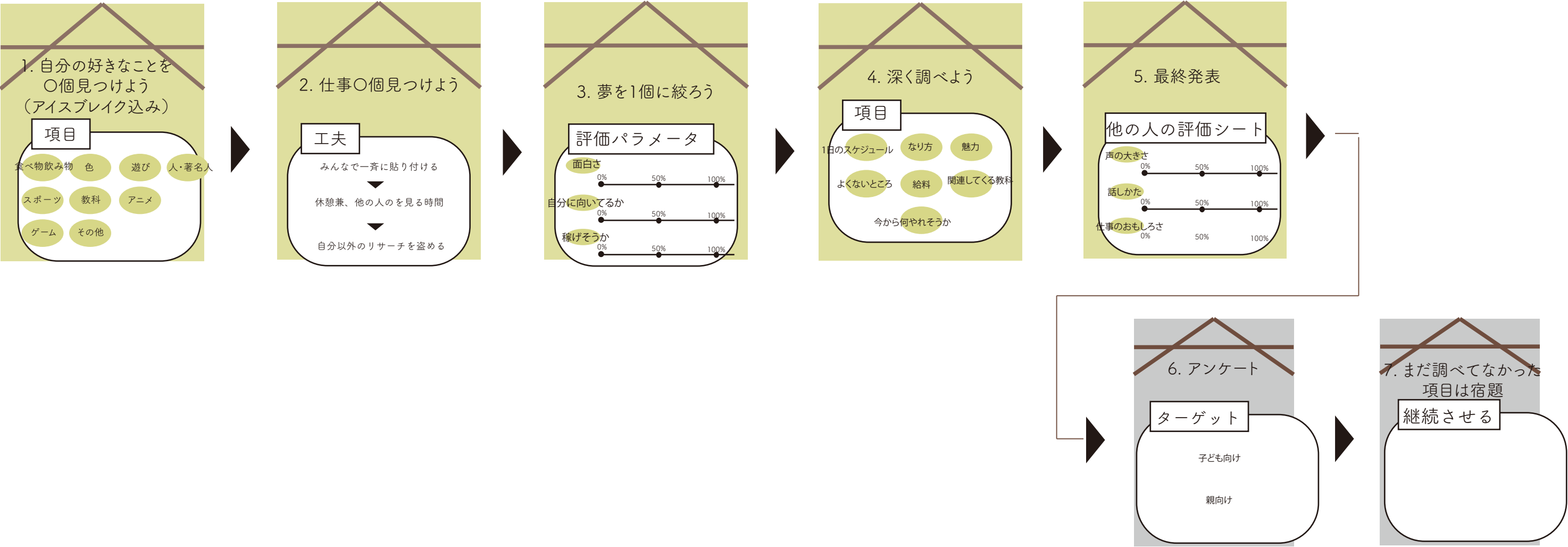
⇒ 大人（教員）の悩みを解決する場の創出

こどもを中心としたコミュニティから大人の居場所をつくる

6. 計画（実現に向けた作戦）



単発イベント内容



7. 最後に、、、応援・協力お願いします！！



テラ小屋実行委員会

→月に1回、テラ小屋プロジェクトについて
意見交換を行う仲間
運営方式やクラウドファンディングの
作戦会議などを行う

対面

オンライン

で実施いたします！

テラ小屋応援団

→テラ小屋プロジェクトの趣旨に賛同する
方のグループ、テラ小屋プロジェクトの進捗が
送られたり、特別イベントへ招待される。



&



で配信！



ご清聴ありがとう
ございました！



皆様のアドバイスを
伺いたいのので、
アンケートにご記入
お願いいたします。